

令和2年7月30日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所

第13回「九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理委員会」の 結果概要について

ダムの事業費や工程等を適切に監理し、コスト縮減策やその他実施状況等について意見と助言を得るため、委員会を開催しました。委員会の結果概要は別紙のとおりです。

1. 開催日時・場所

開催日時：令和2年7月30日(木) 9時30分～11時00分
開催場所：足羽川ダム工事事務所

2. 委員

◎荒井 克彦 (福井大学 名誉教授)
桑原 美香 (福井県立大学経済学部 准教授)
角 哲也 (京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授)
箱石 憲昭 (土木研究所 水工研究グループ グループ長)
◎ 委員長(*50音順・敬称略)

3. 結果概要：別紙のとおり

<取扱い> _____

<配布場所>

福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

副 所 長 よしだ きみのり
吉田 公則

調査設計課長 はやし ひさのり
林 尚典

電話：0776-27-0642(代表)

第13回 九頭竜川水系足羽川ダム 事業費等監理委員会の結果概要について

1. 開催日時：令和2年7月30日（木） 9:30～11:00
2. 開催場所：足羽川ダム工事事務所 1階 第一会議室
福井市成和1丁目2111
3. 委員：◎荒井克彦（福井大学 名誉教授）
桑原美香（福井県立大学経済学部 准教授）
角哲也（京都大学防災研究所
水資源環境研究センター 教授）
箱石憲昭（土木研究所 水工研究グループ グループ長）

◎ 委員長（*50音順・敬称略）

4. 結果概要

●委員からのご意見及び助言

- 水海川導水トンネルの2期工事において、1期工事の施工実績など、既存の調査結果を踏まえ、トンネル技術の専門家の意見も聞きながら、引き続き対策を検討する。
- 流木の発生源対策について、引き続き検討する。
- 水海川分水施設について、将来の維持管理、現状の環境維持も考慮し、総合的な観点から、設計の検討を行う。
- ダム本体の基礎掘削、堤体打設について、新技術等も活用しコスト縮減に努める。
- ダムの観光資源にも配慮した設計検討を行う。